

“救う”と“任務”の意味を持つ「たすく」。西尾市民病院の想いを伝える広報誌



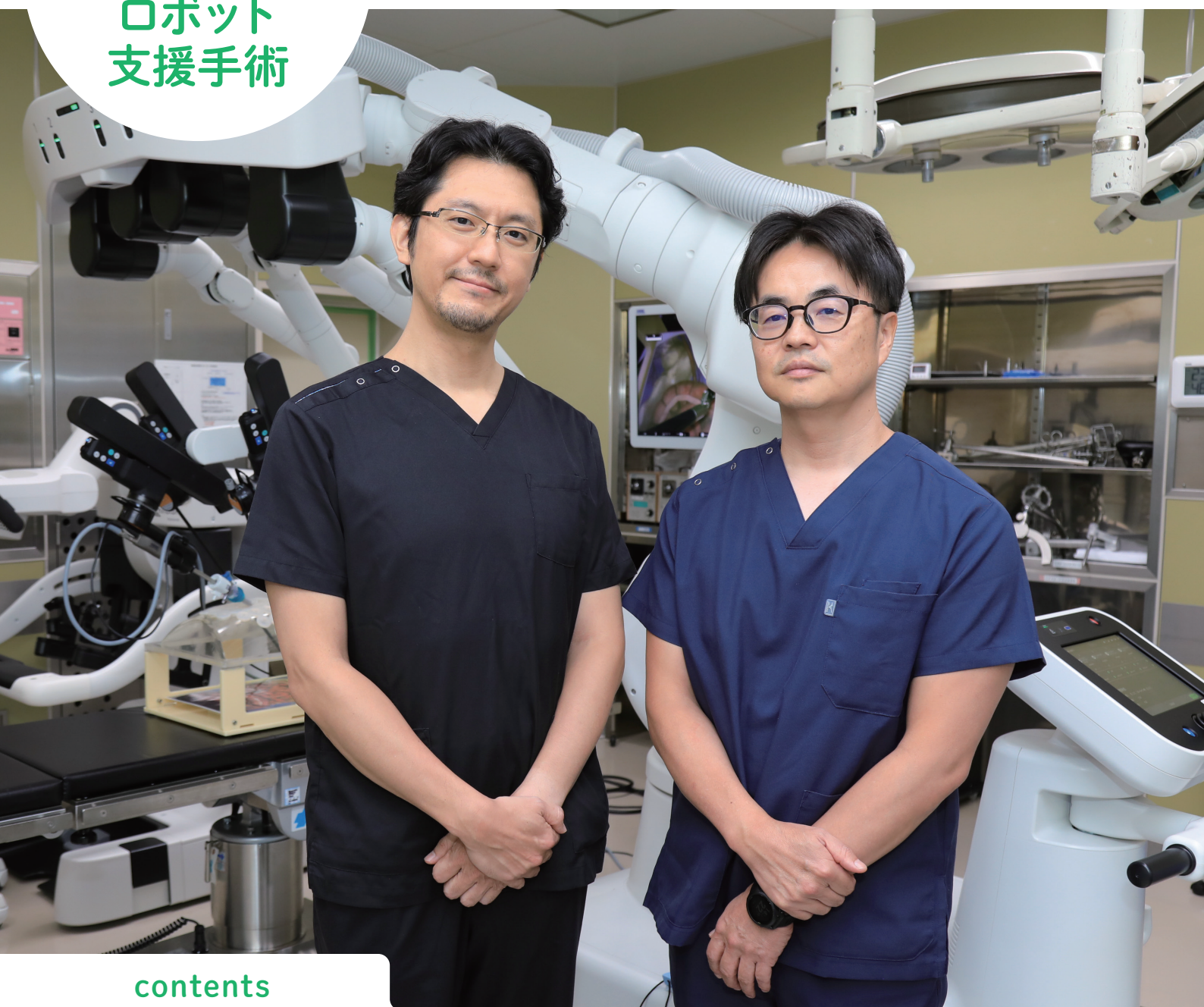
たすく

tasuku

Vol.
1

2025年
12月号

ロボット 支援手術



contents

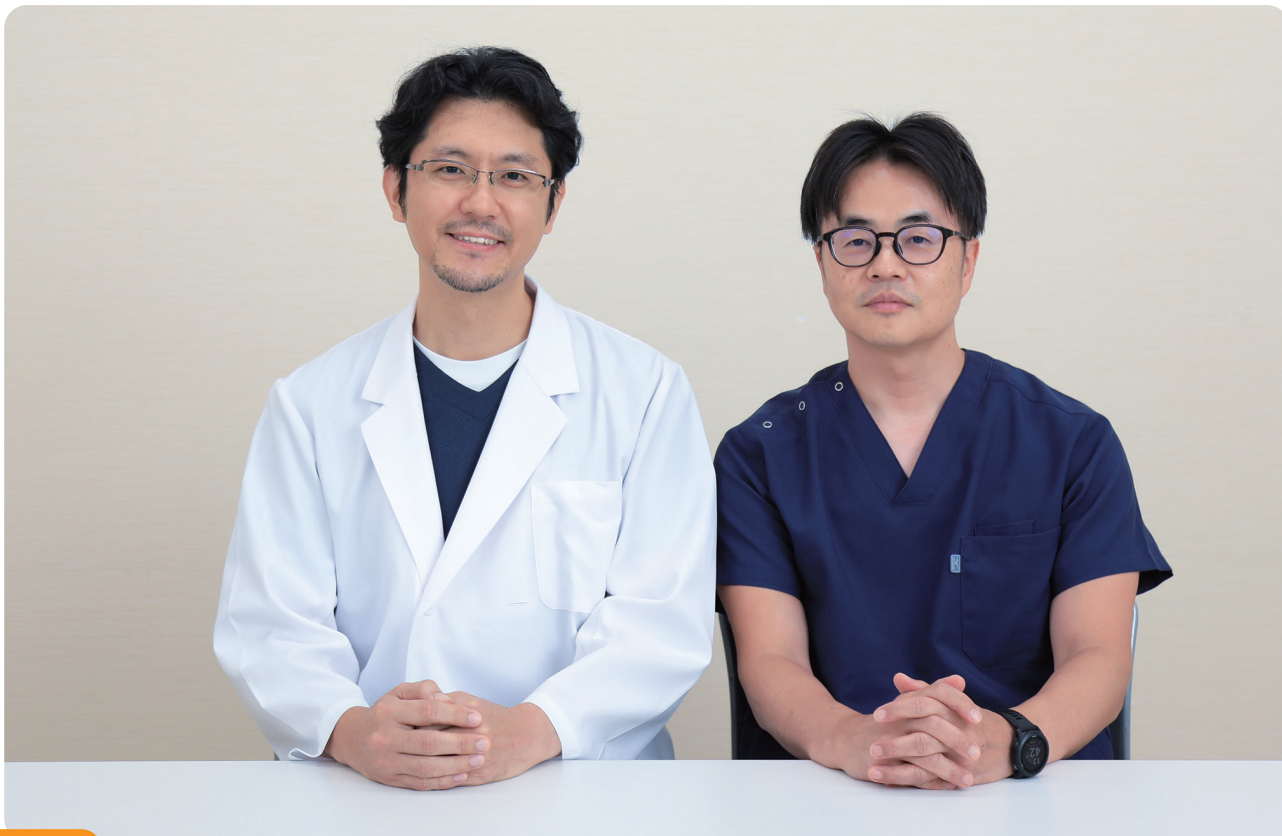
- メディカルアカデミー
「前立腺がん」
- フォーカス メディカルワーカー
「臨床検査室」
- クローズアップ! 施設案内ガイド
「MRI」
- お手軽! おすすめレシピ
- ピックアップ! みんなの声
- 「たすく」 Report

特集

ロボット 支援手術

ロボット支援手術が 受けられます！

西尾市民病院では令和7年4月からロボット支援手術を開始しました。患者さんにとって身体の負担が少なく、術後の回復も早めることが可能な手術方法。これまで以上に高度で患者さんに寄り添った医療の提供ができます。当院のロボット支援手術についてご紹介します。



profile

泌尿器科部長 小林 郁生(左)

2009年愛知医科大学卒業後、2011年より愛知医科大学泌尿器科学講座に入局。2025年4月入職。日本泌尿器科学会・泌尿器科専門医。日本内視鏡外科学会・技術認定医。「治療だけでなく、患者さんのその後の生活も考え、より地域に密着した医療をめざしていきたいです」

外科部長 荘加 道太(右)

2009年岐阜大学医学部卒業後、公立陶生病院、中津川市民病院、名古屋大学医学部附属病院を経て2020年入職。日本外科学会・外科専門医。日本消化器外科学会・消化器外科専門医。日本内視鏡外科学会・技術認定医。「西尾市民の皆さんに少しでも良い医療を提供したいです」

手術の進化に合わせて 手術支援ロボットを導入

ロボット支援手術は、ロボットが自動で手術するのではなく、医師がロボットアームを遠隔操作することで高精度な腹腔鏡手術が可能となります。従来の腹腔鏡手術では難しかった部位や狭い場所へも正確にアプローチができる進化した手術方法です。患部が高精細に見えることに加え、ロボットアームは人間の手の動きを補正しながらミリ単位の繊細な操作ができます。体への侵襲も抑えられ、術後の回復の早さにつながり、ロボット支援手術の導入によって入院期間の短縮も可能になりました。

当院では、ロボット支援手術を多職種のチーム医療で行っています。地域に根差した中規模病院である当院はスタッフ同士

の距離が近く、細かいことでも相談がしやすいので連携がスムーズに行えています。

前立腺がんや大腸がんの外科手術では、全国的にロボット支援手術が主流になっています。当院では導入して間もないこともあり、現在、比較的手術の予約が取りやすい状況です。遠方まで足を運ぶことなく、住み慣れた場所にある病院で、診断から治療、手術まで一貫して受けられることは患者さんにとっても大きなメリットではないでしょうか。これまで「地元の病院でできるなら手術をしたい」とおっしゃる患者さんも多くいらっしゃいました。地域に根差した病院として、患者さんが住み慣れた場所で治療し、どう暮らししていくのかまでを一緒に考え、今後も患者さんに寄り添った医療をめざしていきます。



手ぶれ補正機能があり、安定した操作が可能

手術支援ロボット「hinotori™」

医師の手や目となって体内で仕事をします

西尾市民病院の手術支援ロボット第1号は、国産のhinotori™です。骨格の小さなアジア人に合った仕様になっていて、小回りの利くアームが特徴。他の臓器や血管を傷つけるリスクも低く、

傷口も最小限で済みます。3Dカメラで体内を立体的に映し出し、その鮮明な画像を見ながら医師が遠隔操作。機械自体はとても大きくて驚きますが、繊細な手の動きができるロボットなのです。

対応疾患

結腸がん

今後は

・直腸がん

・胃がん

・鼠径ヘルニア
(自費診療)

にも対応していく
予定です。

外科

今後も対象疾患を増やして
低侵襲で正確な医療の実現を

外科領域では、まず当院の消化器がんのうち最も症例数の多い結腸がんをロボット支援手術の対象にしました。また、鼠径ヘルニアは、自由診療という形で年度内の開始をめざしています。今後、直腸がんや胃がんも対象としていく予定です。ロボット支援手術の導入が当院において重要な

位置づけであると考えています。ロボット支援手術は、あくまで広く普及している通常の腹腔鏡手術の延長線上にあり、より低侵襲で精緻な治療を可能にするものです。ロボット支援手術のメリットをよくご理解くださった上で手術を希望される患者さんが多く、私たちの予想以上にロボット支援手術への関心は大きいと感じています。

対応疾患

前立腺がん

今後は

・膀胱がん

・腎がん

にも対応していく
予定です。

泌尿器科

医療の地域格差をなくし
西尾市でも高度な医療を提供

泌尿器科領域では、ほとんどの疾患でロボット支援手術が保険適用になっています。昨今は、手術支援ロボットでしかできない手術も多く、ロボットがないなら手術をしない方がいい症例もあるほど。手術支援ロボットの有無で治療の選択肢が減るケースもあります。そういった医療にお

ける地域格差を埋めるため、西尾市でも手術支援ロボットが導入できたことは大きな進歩。例えば腎がんや腹腔鏡手術よりもロボット支援手術の方が適している場合には、これまででは他院へご紹介をしていましたが、今後は当院で対応できるようになります。診断から手術まで切れ目のない医療を提供し、患者さんが地元で治療を完結できる体制をめざしていきます。

診断から手術までが
スピーディー

令和7年の4月から前立腺がんの全摘手術を開始しましたが、診断から手術まで1カ月以内という目標を達成できています。今後は段階を踏んで腎がんや膀胱がんにも対応していく予定です。

最先端の低侵襲手術で
体の負担と不安を軽減

学会の技術認定医をはじめ、関連病院で経験を積んだ経験豊富な医師が多数在籍し、より高精度な手術を提供できる点が当科の強みです。患者さんが笑顔で日常に戻れるよう、真心を込めて診療します。





前立腺がん

泌尿器科部長
小林 郁生

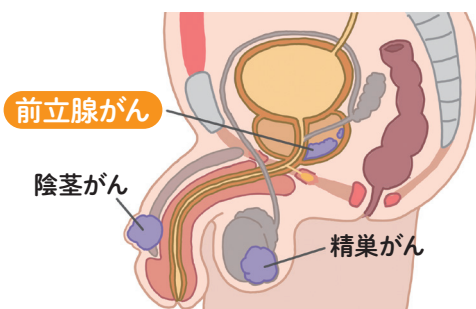
2025年4月愛知医科大学病院から赴任。主に手術を担当。

私が
解説
します！



「前立腺がん」
とは？

「前立腺がん」は、男性の膀胱のすぐ下にあり、精液の一部となる前立腺液をつくっている「前立腺」にできる悪性腫瘍。日本人男性のがんでは最も罹患数の多い病気です。初期では目立った症状はほとんどなく、進行すると排尿困難や頻尿、血尿といった症状が現れることがあります。膀胱や直腸などの周囲の組織への浸潤や、リンパ節や骨に転移して腰痛の症状が出ることも。早期発見で完治も期待できる病気ですが、比較的ゆっくり進行する場合が多く、積極的な検査が重要です。採血のみ



膀胱のすぐ下、尿道を囲むように位置する「前立腺」にできるがん

でできるPSA検査（前立腺腫瘍マーカー）で前立腺がんの可能性をスクリーニングできるので、50代以降の方は定期的な検査が大切です。PSA検査の後、精密検査をするかどうか迷った場合に当院へ相談に来ていただくのでもかまいません。

主な治療法は、外科的手術と放射線療法。手術は、近年、ロボット支援手術が主流になっています。前立腺は骨盤の奥深くに位置し、神経や血管が密集しているため、高精度な操作が求められる領域です。そのため、ロボット支援手術のメリットが非常に大きく、また低侵襲で患者さんの体への負担も少なく、保険診療で行えます。

3つの深掘り

1

どんな人が
かかりやすい？

患者の多くは40代以降の男性で、高齢になればなるほど罹患率は高くなっていますが、進行の早い働き盛りの50代、60代の方が一番気をつけるべき年齢といえます。また、血縁者の中に前立腺がんの人がいる男性も特に注意が必要。誰でもなりうる病気なので、健診を受けることが大切です。

2

どんな検査を
するの？

まずは血液検査で行うPSA（前立腺腫瘍マーカー）で数値を見て、高ければMRI検査をします。がんの疑いがあった場合は、入院しての精密検査が必要。肛門から機器を入れて前立腺に針を刺し、組織を採取する「生検」です。麻酔下で行うため痛みはほとんどありません。

3

どんな治療を
するの？

手術と放射線治療があり、予後や再発率は同程度。手術のメリットは、物理的に全摘できるので悪性度がわかり、再発リスクの予想が立てやすいことですが、尿失禁や尿漏れが起こる可能性があります。一方で、放射線治療は体への負担が少なく、合併症のリスクが手術より比較的低いことは安心ですが、排便や排尿に障害が起こる可能性があります。



←手術支援ロボット



フォーカス
Focus

メディカルワーカー

西尾市民病院を支えるスタッフをご紹介します

【臨床検査室】



患者さんの血液や尿の検査やエコー検査などを日夜行っている場所。当院では32名の臨床検査技師と2名の看護師が在籍しています。

(2025年11月時点)

井上順子室長(中) / 1992年4月入職

「当院への患者さんの期待は大きいと感じています。その期待に応えられるよう、より精密な検査に努めています」

吉田邦子技師(左) / 2015年入職

「患者さんの体に触れることも多い生理学的検査では、患者さんとのコミュニケーションを大切にしています」

早川智香技師(右) / 2022年入職

「初めて検査を受ける人にとっては不安もあると思いますが、私たちに内容を尋ねてもらえば詳しく説明します」



検査データを基に、各技師の意見を交換しながら分析をする

負荷心エコーを導入し
心不全の早期発見につなげる

臨床検査室では大きく分けて、患者さんの血液や尿などを検査する検体検査と、エコーなどの機器を使って患者さんの体に触れて行う生理学的検査を行っています。当院では、エコーをはじめ、各種検査の専門資格を取得した認定検査技師が中心となり、医師と共に症例ディスカッションや勉強会を重ね、正確な結果を臨床現場へ迅速に届けることをめざしています。また、救急患者さんに対しても素早く検査ができるよう、昼夜を通じて大勢の臨床検査技師が業務に臨んでいます。市民病院と

して求められる患者さんのニーズに応えられるよう、より精度の高い検査を臨床検査技師たちは日々心がけています。

また、令和7年3月のガイドライン改訂により重要度が高まったことを受け、「負荷心エコー」検査を導入しました。安静時にはわからない心臓の血流変化を見つけるため、リハビリ室にあるエルゴメーターという自転車をこぎながら行う検査です。心臓に負荷をかけて行うため、運動時にのみ胸が痛くなるなどの症状を見つけることができ、循環器科や心臓血管外科にかかる患者さんの心不全や弁膜症などの早期発見につながっています。



CLOSE-UP!

クローズアップ!

施設案内 ガイド

普段、患者さんからなかなか見えない
院内のリアルを紹介します

最新型MRIを令和7年9月に導入



低反発マットを採用し、腰痛の患者さんに優しい造りになっている

そこで、当院では令和7年9月に新しいMRIを導入。AI機能が装備されていることで、画像の解像処理が短時間となつた上に、画像精度も上がりました。ノイズや画像の歪みをAIが自動で補正するので、より正確な診断につながります。検査時間も約15分に短縮され、残り時間の表示もあるので患者さんのストレスも軽減されます。

初めてMRI検査を受ける時は不安があるかと思いますが、気がかりなことが少しでも減らせるよう、事前説明を丁寧に行っていますので、検査を受ける際はどんな小さなことでもご相談ください。

一方で、狭い筒状の中に約30分じっとしていなければならないことが患者さんにとって負担でした。そこで、当院では令和7年9月に新しいMRIを導入。AI機能が装備されていることで、画像の解像処理が短時間となつた上に、画像精度も上がりました。ノイズや画像の歪みをAIが自動で補正するので、より正確な診断につながります。検査時間も約15分に短縮され、残り時間の表示もあるので患者さんのストレスも軽減されます。

す。検査室の壁面スクリーンや機器内部には、自然風景やリラクゼーション画像などのさまざまな映像が映し出される新しい機能も搭載。小さいお子さんから高齢の方まで安心して受けられるよう、患者さんに優しい機器で検査をすることで、今までのMRIに苦手意識がある方でも、検査中のじっとしている時間をリラックスして過ごせるようになりました。

[MRI]

強力な磁場と電波を使って
体の内部を画像化する検査機器

／ 私たちをご紹介します! ／



画像
情報室

左から 笹尾 充 副室長/
池田 江美子 室長/下村 真樹 技師

MRI内部に映像が映し出され
リラックスして検査が受けられる

MRIは、エックス線やCTとは違い、放射線を使わずに検査できるのが特徴です。体を輪切りにした断面画像からは、脳、脊髄、内臓、血管などの状態を見ることが可能。エックス線では写らない、炎症や出血などの変化も描出することができ、病変の位置関係も立体的に把握しやすのが特徴です。また、軟部組織や神経系の異常を見つけることが得意で、脳梗塞や肝臓がん、椎間板ヘルニア、関節炎、前立腺肥大症、子宮筋腫など、全身の疾患の検査に使われています。被ばくの心配もなく、高精度な画像で細部まで観察できる一方、狭い筒状の中に約30分



映像の中には、動物の動きを目で追うなどの動画もあり、小さいお子さんも受けやすい



健康を意識した食材の豆知識と、
手軽に作れるレシピを
栄養士目線でご紹介します。

さばに多く含まれる「EPA（エイコサペンタエン酸）」には、血栓を作りにくくし、中性脂肪を下げる効果が期待できます。

さばの 和風野菜あんかけ



【材料】2人分

さば……2切れ（1切れ約60g）
にんじん……20g
たまねぎ……20g
ねぎ……20g
油……少々
A だし汁……100ml
醤油……小さじ2
みりん……小さじ2
酢……小さじ1
水溶き片栗粉……
（片栗粉・水……各小さじ2）

【作り方】

- ① にんじん、たまねぎ、ねぎを細切りにする
- ② さばを魚焼きグリルか、フライパンに少量の油を引いて焼く
- ③ あんとなるAの調味料をすべて混ぜて、鍋で中火にかける
- ④ ③に、にんじん、たまねぎを入れ、火が通ったら最後にねぎを加えてさっと加熱する
- ⑤ ④に水溶き片栗粉を加え、とろみをつける
- ⑥ 器にさばをのせ、上から⑤をかけて盛りつける

【栄養価】1人分

エネルギー：180kcal
たんぱく質：13.4g 塩分：1.1g

Point

【調理のポイント】

「あん」に酢を少し加えることで、薄味でも味が引き締まります。また、ねぎを加えることで、香味と甘みにより、味わいを深くしてくれます。

Pick-up!



ピックアップ! みんなの声

当院に通院・入院されていらっしゃる患者さんからいただいた貴重なご意見をご紹介します。

voice no.01

病室が寒すぎる…

入院中、病室が寒かったです。
室内の設定温度を
もっと上げてほしいです。

入院中、病室が寒いという
ご意見をいただきました。

answer

空調の入り切りや風量調整、
ブランケット貸与などで対応しています。

この度はご意見をいただき、ありがとうございました。当院の病室空調については、施設全体で冷房と暖房を切り替えるシステムとなっており、各病室で空調の入り切りや風量調整をすることはできますが、温度調整はできない仕組みとなっております。そのため、患者さんが寒すぎると感じる場合には、冷房の時期は空調を切る、暖房の時期は風量調整、ブランケット貸与などで対応しておりますので、病棟看護師にお申し付けください。

皆様のご意見を反映し、より良い院内の環境づくりに努めます。
院内に投書箱を設置しておりますので、ぜひご意見をお聞かせください。

たすく tasuku Report

消防訓練を 行いました

西尾市民病院では、年に2回、消防訓練を実施しています。本年も8月に、西尾市消防設備点検協同組合にご協力いただきながら、院内で火災が発生した際、職員が迅速かつ的確に通報や初期消火、患者さんの避難誘導ができるように、院内の消火栓を使った放水訓練を実施しました。職員一同、改めて気を引き締めて練習に挑みました。

DATA

【日 時】令和7年8月21日(木) 午後1時30分から2時15分まで

【参加】病院職員36名

※消防訓練は法令や消防計画に基づき年2回実施しています



ホースの重さや放水の角度などを確認しながら、本番さながらの練習を行いました。実際に放水を体験してみて、思ったより勢いよく水が出ることや、2人体制で行う手順を学びました

初期対応の3原則（早く知らせる・早く消す・早く逃げる）を着実に進められるよう学びを深めました。万が一火災が起こったとき、今回の経験を活かし、よりスムーズに行えそうだと思います

